

「笑顔と誇りを未来へつなぐまち 飯南」の実現に向けて



最優先課題及び重点施策

第3次総合振興計画の推進

計画では、まちの基本理念「小さな田舎からの生命地域宣言」のもと、目指す将来像は「笑顔と誇りを未来へつなぐまち飯南」とし、10年後も笑顔あふれるまちであるよう、豊かさの継承と創造への挑戦を目指します。計画に基づき、豊かで持続可能なまちの実現に向けて施策を進めます。

1月の飯南町長選挙におきまして、引き続き、町政の舵取り役を担わせていただくこととなりました。今後4年間、町民の皆様のご理解ご協力をいただきながら、職員一丸となり町政課題の解決に強い使命感を持って取り組んでいきます。
町長 塚原 隆昭

公約に掲げる5つの重点政策

- ① 子どもたちの声が聞こえるまちづくり（少子化対策）
- ② 安心・安全なまちづくり
- ③ 誇れる産業が継続できるまちづくり
- ④ 定住を進めるまちづくり
- ⑤ 歴史文化を感じるまちづくり

●詳細はこちらをご覧ください

令和7年第2回飯南町議会定例会
町長所信表明・提案理由説明要旨



町内における高齢者福祉事業の維持

各介護サービス事業所の運営が困難な中、飯南町社会福祉協議会と友愛会が運営する2施設を統合することなどが方針決定されています。町としても特別養護老人ホームの建設に向けて必要な支援を検討します。建設予定地は、「医療機関に近い地域」という観点、両法人の意向も踏まえ選定し、町で用地取得と敷地造成を実施する方向です。（8ページに関連記事）

町内小中学校の再編（教育環境基本計画の策定）

次世代を担う子どもにとっての教育環境と学校の配置や規模の方向性を示す「教育環境基本計画（素案）」を策定しました。
赤名、来島、頓原小は可能な限り存続、志々小は児童数の減少や校舎の老朽化などを考慮して、頓原小との統合を検討しています。中学校は施設、生徒数の推移、通学、コストなどから総合的に判断して令和10年度をめどに再編する方向です。

若者の町内定着・就労支援

移住・定住対策で人口減少を抑制するため、新たに15歳以上35歳未満の本町の出身者や、しまたね留学等による飯南高校卒業生を対象に「笑顔と誇りを未来へ繋ぐいいなん暮らし応援給付事業」を創設しました。
本町に住み続け、働くきっかけとなるよう、対象者に5年間で100万ポイントを支給します。（9ページに関連記事）

脱炭素社会の実現に向けた取組

「飯南町脱炭素のまち宣言」後、脱炭素社会の実現のため、豊かな自然を活かした本町にふさわしい取組を検討してきました。昨年1月に策定した「飯南町脱炭素のまち推進計画」に基づき、2050年に二酸化炭素の排出を全体として実質ゼロにすることに向けて、まずは公共施設の脱炭素化を計画的に進めます。

総合振興計画に掲げる主要施策

創造力のある未来の人づくり

病児・病後児保育事業の開始

仕事と子育てが両立できる環境をつくるため、飯南病院近くに病児・病後児保育施設を整備し、今月から受け入れを開始しました。施設の愛称は「ぱおりか」に決定。仕事と子育ての両立を支援します。（8ページに関連記事）

誇れる産業と仕事づくり

農林業振興計画

水田農業（米）・特産・畜産・林業の現状や課題、今後の取組を定めた「飯南町農林業振興計画」を策定しました。

スマート農業の推進や、パブリカやサツマイモなど、町が推奨する園芸作物の販路確保による生産所得向上も含め、次世代を担う若者世代にとって魅力があり、持続可能な農林業を実現できるよう、計画に基づきしっかりと取組を進めます。

観光宿泊施設のあり方

レストハウスやまなみ、琴引ビレッジ山荘、憩いの郷衣掛は、施設のあり方・機能再編を検討しています。皆さんからの意見も参考に、利便性の確保、施設の維持管理費など、今後の財政状況も鑑み、慎重に検討を進め方向性を定めます。

誰もが健やかな暮らしづくり

予防接種

65歳以上の方の带状疱疹ワクチンの予防接種は、新年度から予防接種法に基づく定期接種となります。接種助奨や公費助成などを適切に行い、予防を図ります。
65歳以上の方の新型コロナウイルスワクチンの予防接種は、今年度も定期接種の対象です。医療機関での予約による接種が想定されます。接種費用は、国からの補助の通知があり次第、今後の対応を検討します。

高齢者を対象とした中等度難聴者補聴器助成

高度・重度難聴者には、身体障害者福祉法に基づき助成を行っています。補聴器の使用で日常生活の不便が軽減され、認知症の進行抑制にも有効であることから、新たに65歳以上の中等度難聴者も対象に補聴器購入費用の助成を開始します。

地域医療の維持・充実

「誰もが健やかな暮らしづくり」「安心して暮らせる環境づくり」のため、飯南病院では小規模ながらも救急医療、入院機能といった必要な医療サービスを提供しています。地域包括医療・ケアの実践の場として、志のある医療従

安心して暮らせる環境づくり

赤名農村環境改善センターの大規模改修

昨年度、照明設備のLED化やトイレの洋式化、音響設備更新等の工事を行いました。今年度は、災害時に備えた避難所機能の整備として、非常用発電設備の設置を行います。

地域防災力の向上

豪雨による土砂災害を想定し、町全体の防災訓練を6月1日に計画しています。防災は、日頃から繰り返しの訓練が大切です。

近年の気象状況や備蓄品などの防災対策に関する出前講座は、昨年度7つの地域・団体で実施。災害時の対応を話し合うきっかけとなるよう、引き続き取り組みます。

ごみ減量の普及啓発・公共施設等の脱炭素化

生ごみの減量化と焼却時の二酸化炭素削減を図るため、木製コンポストを活用した

協働で進めるまちづくり

コミュニティ把握調査の実施

担い手不足や役割分担の負担感など、現状の集落単位での地域運営が難しく、課題を抱える地域もあると考えています。実態を調査し、今後のコミュニティのあり方を検討していくための基礎資料として活用します。

議会議員報酬の答申

町議員の議員報酬を引き上げることが適当として、飯南町特別報酬審議会から答申を受けました。この度の報酬改定が、議員活動のさらなる充実と魅力あるまちづくりの一助となるよう期待します。